

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 10 巻第 16 号

第 16 週 (4月19日 ~ 4月25日)

発行年月日:平成22年(2010年) 4月28日

発行 :滋賀県衛生科学センター内
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

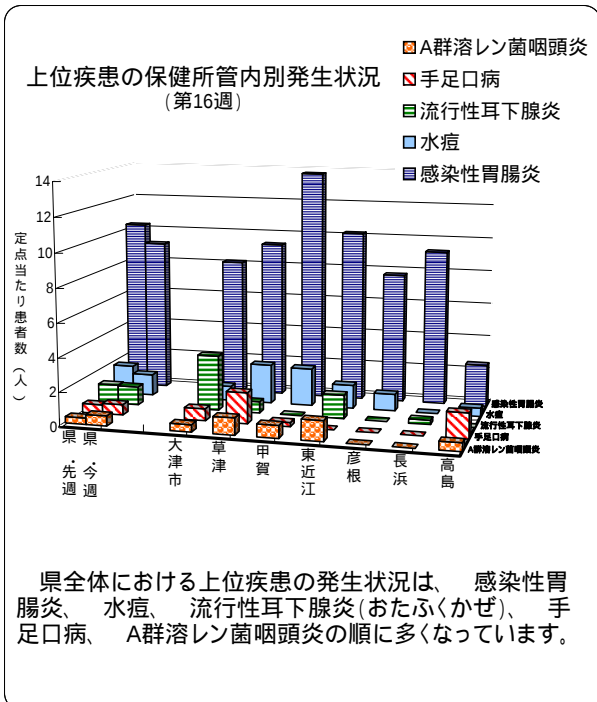
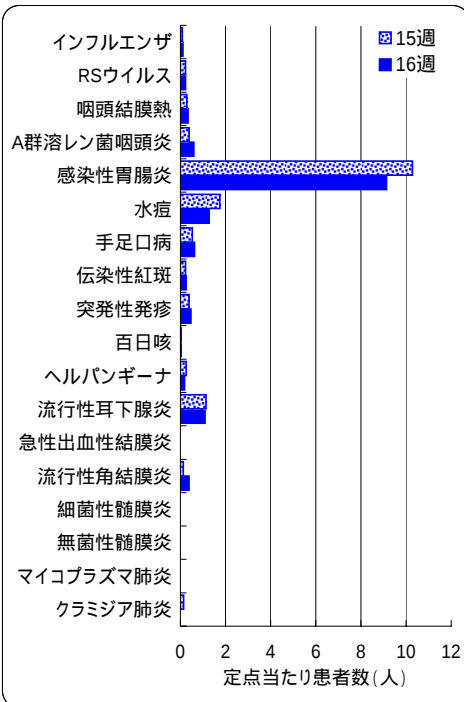
**腸管出血性大腸菌感染症の発生は、今年になって3例目
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)の発生は、大津市保健所管内で増加**

一類～五類全数報告感染症の発生状況(第16週)

- ・一類感染症----報告はありません
- ・二類感染症----**結核 4名**
- ・三類感染症----**腸管出血性大腸菌感染症 1名** (東近江 1名)
- ・四類感染症----報告はありません
- ・五類感染症----**風しん 3名** (草津 1名、長浜 2名)

定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

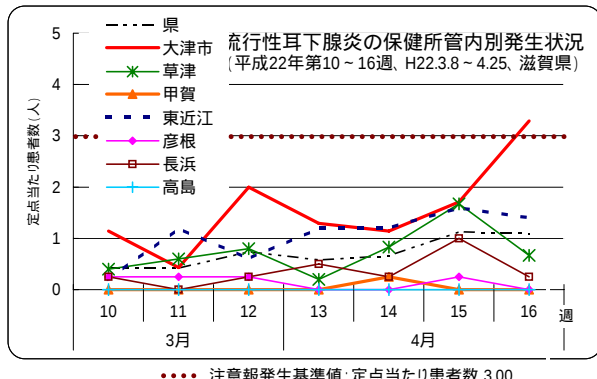
下記グラフに示す18疾患の患者報告数は、先週(501名)より減少し、今週は464名となっています。今週増加した疾患は、咽頭結膜熱(プール熱)、A群溶レン菌咽頭炎、手足口病等で、減少した疾患は、感染性胃腸炎、水痘等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。
「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」によると、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)では、大津市保健所管内で注意報発生基準値(定点当たり患者数 3.00)を超えています。



流行性耳下腺炎の発生状況

流行性耳下腺炎の第16週(4/19~4/25)における県全体の定点当たり患者数は1.09で、先週の定点当たり患者数1.13よりやや減少しています。

保健所管内別の発生状況は、大津市で先週よりさらに増加しています。大津市の定点当たり患者数は3.29で、注意報発生基準値(3.00)を超えています。他の保健所管内では、先週より減少しています。



1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感 染 症 類 型	疾 患 名	平成22年 累積報告数		平成21年 累積報告数 ^(※1)		平成20年 累積報告数	
		滋賀 ^(※2) (16週)	全 国 ^(※2) (15週) ^(注)	滋賀	全 国 ^(※2)	滋賀	全 国 ^(※2)
一 類 感 染 症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二 類 感 染 症	結核	80	6,354	256	26,932	282	28,419
三 類 感 染 症	コレラ	0	2	1	16	0	45
	細菌性赤痢	0	47	0	180	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	3	323	27	3,886	53	4,322
四 類 感 染 症	E型肝炎	0	21	1	56	0	43
	A型肝炎	2	121	0	115	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	0	2	1	2
	デング熱	0	33	0	93	2	104
	マラリア	0	19	0	56	1	56
	レジオネラ症	0	142	8	712	10	893
五 類 感 染 症	アメーバ赤痢	4	228	10	783	10	872
	ウイルス性肝炎	0	54	3	220	5	241
	急性脳炎	0	80	8	526	1	190
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	40	2	141	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	37	2	105	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	367	9	1,449	11	1,568
	ジアルジア症	0	20	0	73	1	75
	梅毒	3	152	3	692	5	839
	破傷風	0	20	3	113	5	123
	風しん	4	22	2	148	2	309
新型インフルエンザ 等感染症	麻しん	0	139	7	739	39	11,015
	新型インフルエンザ(H1N1) ^(※3)	0	0	138	12,639	— ^(※4)	— ^(※4)

注：16週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報（SIDR）に掲載します。

- * 1: 感染症発生動向調査年報暫定数（国立感染症研究所感染症情報センター、平成22年3月）。
* 2: 全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています（国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照）。
* 3: 感染症法の一部改正（平成21年7月24日施行）により届出の対象となった報告数です（届出期間：平成21年7月24日～8月24日）
* 4: 感染症法の一部改正以前のため、集計は行っていません。

2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関（定点）といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです（患者報告数＝定点当たり患者数×定点数）。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成22年第11～16週、3/15～4/25)

定点区分	定 点 数	疾 患 名	定点当たり患者数（ ↑ 前週より増加 → 前週と同じ ↓ 前週より減少）										
			11週	12週	13週	14週	15週	16週	週				
			3/15～	3/21～	3/29～	4/5～	4/12～	4/19～	12	13	14	15	16
インフルエンザ	53	インフルエンザ	0.56	0.27	0.44	0.32	0.09	0.11	↓	↑	↓	↓	↑
小児科	32	RSウイルス感染症	0.61	0.26	0.06	0.25	0.22	0.22	↓	↓	↑	↓	→
		咽頭結膜熱（プール熱）	0.29	0.16	0.16	0.28	0.28	0.34	↓	→	↑	→	↑
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.13	0.55	0.68	0.56	0.38	0.59	↓	↑	↓	↓	↑
		感染性胃腸炎	7.97	7.39	7.39	8.53	10.28	9.13	↓	→	↑	↑	↓
		水痘	2.19	1.39	1.55	1.63	1.75	1.28	↓	↑	↑	↑	↓
		手足口病	0.68	0.45	0.35	0.69	0.53	0.63	↓	↓	↑	↓	↑
		伝染性紅斑（リンゴ病）	0.06	0.03	0.10	0.13	0.22	0.25	↓	↑	↑	↑	↑
		突発性発しん	0.55	0.35	0.19	0.25	0.38	0.47	↓	↓	↑	↑	↑
		百日咳	0	0	0.03	0	0.03	0.03	→	↑	↓	↑	→
		ヘルパンギーナ	0	0.10	0.13	0.16	0.25	0.19	↑	↑	↑	↑	↓
眼科	8	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0.42	0.74	0.58	0.66	1.13	1.09	↑	↓	↑	↑	↓
		急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	→	→	→	→	→
基幹	7	流行性角結膜炎	0	0.13	0	0.13	0.13	0.38	↑	↓	↑	→	↑
		細菌性髄膜炎	0.29	0	0.14	0.14	0	0	↓	↑	→	↓	→
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0.29	0	0	→	→	↑	↓	→
		マイコプラズマ肺炎	0.29	0.14	0	0	0	0	↓	↓	→	→	→
基幹	7	クラミジア肺炎（オウム病を除く）	0.14	0	0	0.14	0.14	0	↓	→	↑	→	↓

各疾患における6週間の発生状況

増加傾向・・・伝染性紅斑、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎
減少傾向・・・RSウイルス感染症、A群溶レン菌咽頭炎

(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第16週、4/19～4/25)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								疾患別発生状況 (県全体)
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島	
インフルエンザ	0.11	0.09	0	0	0.63	0	0	0	
RSウイルス感染症	0.22	0	0.50	0	0	0	0	2.00	
咽頭結膜熱(プール熱)	0.34	0.86	0.33	0	0.20	0	0	1.00	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.43	1.00	0.75	1.20	0	0	0.50	
感染性胃腸炎	9.13	8.14	9.33	13.75	10.20	7.75	9.25	2.50	
水痘	1.28	0.86	2.33	2.25	1.40	1.00	0	0.50	
手足口病	0.63	0.71	1.83	0.25	0	0	0	1.50	
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.25	0.14	0.33	1.00	0	0.25	0	0	
突発性発しん	0.47	0.43	1.33	0	0	0.75	0.25	0	
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	0.19	0	0.17	0	0	0	0.25	2.00	
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	1.09	3.29	0.67	0	1.40	0	0.25	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.38	0.50	0	1.00	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	

赤・太字

は警報発生基準値を超えています。

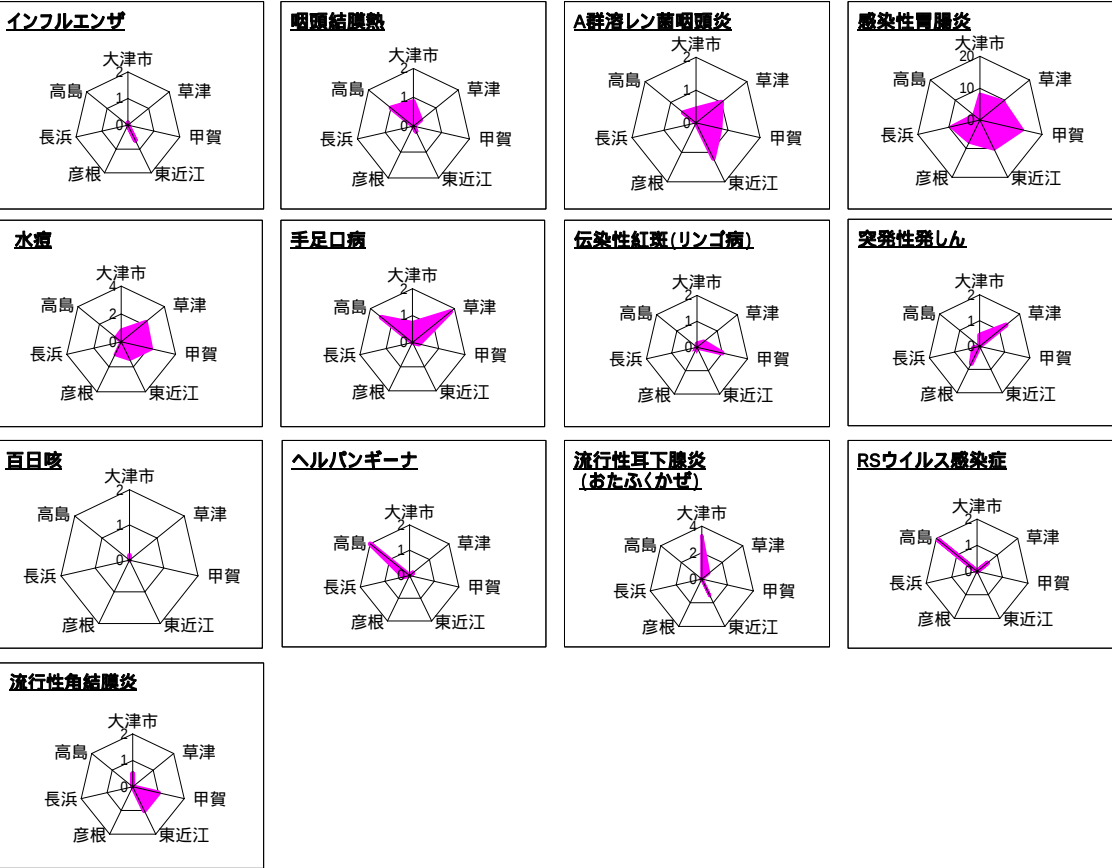
青緑・太字

は注意報発生基準値を超えています。

024681012

定点当たり患者数

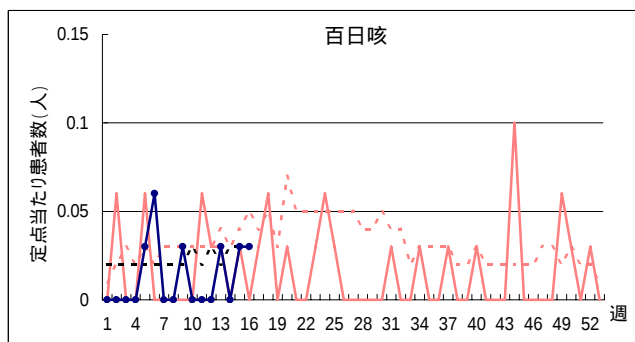
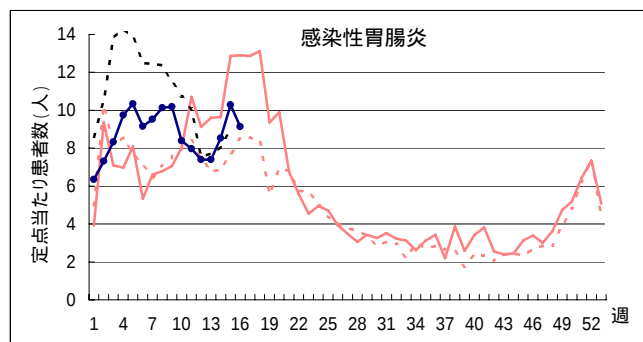
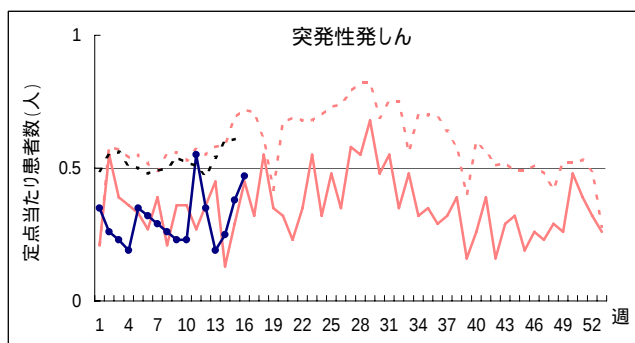
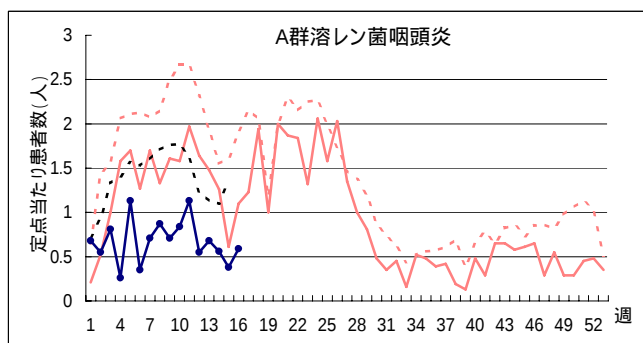
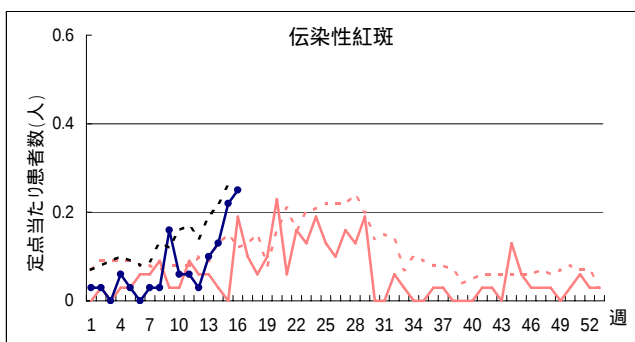
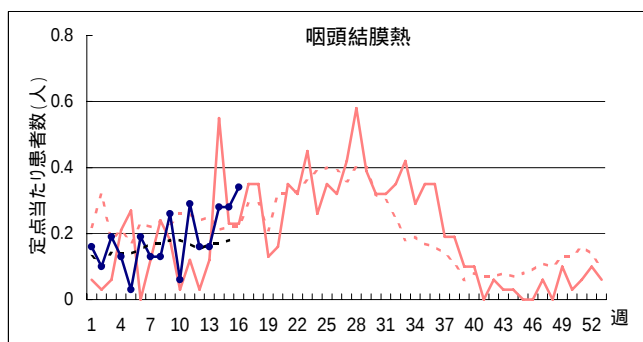
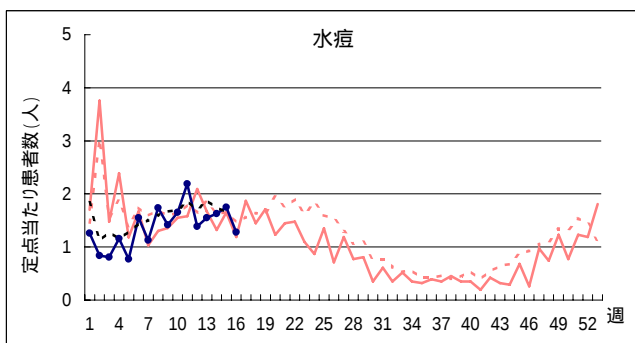
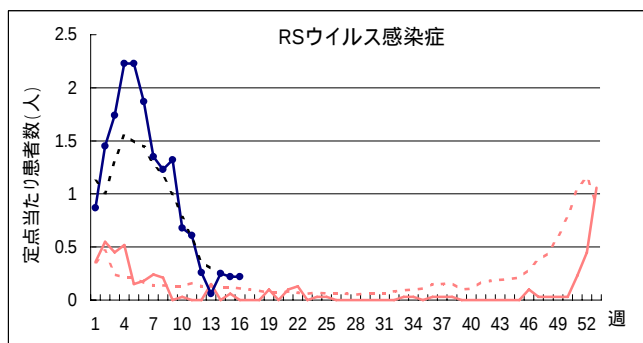
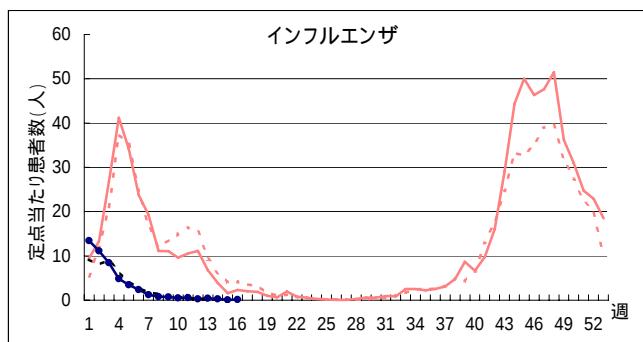
疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



(3)今週の発生状況

- 咽頭結膜熱-----県全体では先週より増加し、保健所管内別では大津市、草津および高島で先週よりやや多くなっています。
- A群溶レン菌咽頭炎----東近江保健所管内で、先週よりかなり多くなっています。
- 感染性胃腸炎-----県全体では先週より減少しています。特に、先週多かった長浜保健所管内では、約2/3に減少しています。
- 水痘-----県全体では先週より減少しています。特に、先週多かった東近江保健所管内では、約2/3に減少しています。
- 手足口病-----県全体では先週より増加しています。特に、草津保健所管内では、先週のほぼ倍増となっています。
- 流行性耳下腺炎-----年齢別発生割合では、先週多かった8歳で減少していますが、今週は4歳で増加し、全体の34.3%を占めています。

疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ～ 16 週、H22.1.4～H22.4.25)



疾病別定点当たり患者数(平成22年第 1 ～ 16 週、H22.1.4～H22.4.25)

